

発注者・受注者で実現する IT 業界の働き方改革に関する意識調査

一般社団法人熊本県情報サービス産業協会（KISIA）

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会（MISA）

一般社団法人情報サービス産業協会（JISA）

ご回答にあたってのお願い

1. 本調査は、厚生労働省委託事業「IT 業界の働き方改革サポート事業」の一環として行う、地域における IT 業界の取引構造を踏まえ、業務・プロジェクトの遂行状況やそれに伴う働き方、働き方改革への取組状況等に関する個人調査です。
2. 本調査票では、以下の内容についてお尋ねします。
 - I. 勤務先・個人の属性について
 - II. 現在担当している業務・プロジェクトについて
 - III. 業務・プロジェクトの遂行状況や課題意識について
 - IV. 就業場所・テレワークについて
 - V. 労務管理制度・モチベーション・働き方改革への取組について
 - VI. その他（自由記述）
3. 本調査は、システム開発におけるプロジェクト関係者を対象としたアンケートとなっています。情報システム部門の方（発注者側）やプロジェクトの管理者・責任者（受注者側）等、業務・プロジェクトの実態をよく把握されているご担当の方に、内容を確認の上ご回答いただきますようお願いいたします。社内で発注・受注のどちらもある場合には双方の方々へ、また個人調査になりますので社内で出来るだけ多くの方にご回答いただけますと幸甚に存じます。
4. ご回答の方法は各質問文に示されておりますが、基本的には該当する番号を選択して下さい。なお、「その他」を選択された場合は、（ ）内にその内容を具体的にご記入下さい。
5. ご回答いただいた内容は、一般社団法人情報サービス産業協会（JISA）によりすべて統計的に分析・処理されます。本事業による分析・処理以外には使用しないため、本調査へのご回答により貴社及び回答者の皆様に不利益が及ぶことは一切ありませんので、ありのままをお答えください。なお、働き方改革への取組事例として、アンケート結果をより深掘りさせていただきたい企業様に対し、事業の一環でヒアリングのご依頼をさせていただく可能性があります。
6. 調査結果は、厚生労働省の Web サイト「IT 業界の働き方・休み方の推進」等で公開予定です。是非とも積極的な調査協力をお願いいたします。
7. **2021年10月20日（水）**までに Web 上でご回答下さい。なお、紙面（調査票）での回答も可能です。紙面での回答をご希望する場合、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

■お問い合わせ先（担当事務局）：

一般社団法人情報サービス産業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-3-4 S-GATE 大手町北 6F

電話：03-5289-7651

E-mail：mhlw2021_k_owner@jisa.or.jp（担当：辻村）

I. 勤務先・個人の属性についてお伺いします。

問1 勤務先名をご記入ください。()

問2 あなたの勤務先の所在地をお答えください。(1つだけ○)

1. 宮城県 2. 熊本県

問3 あなたの勤務先(会社全体・事業所)の現在の正社員数をお答えください。(1つだけ○)

(会社全体)

1. 1~30人未満 3. 50~100人未満 5. 300人以上
2. 30~50人未満 4. 100~300人未満

(事業所)

1. 1~30人未満 3. 50~100人未満 5. 300人以上
2. 30~50人未満 4. 100~300人未満

問4 あなたの職位をお答えください。(1つだけ○)

1. 役員クラス 3. 課長クラス 5. 一般社員
2. 部長クラス 4. 主任・係長クラス 6. その他()

II. 現在担当している業務・プロジェクトについてお伺いします。

※複数のプロジェクトを担当している場合は、主に関与するプロジェクトについてお答えください。

問5 現在担当している業務・プロジェクトの取引構造におけるポジションをお答えください。(1つだけ○)

1. 大元の発注者 →付問1へ
2. 受注側(自社サービス開発) →問6へ
3. 受注側(情報子会社)・・・親会社などグループ企業向けのシステム企画/開発/運用業務 →付問2へ
4. 受注側(元請け)・・・親会社などグループ企業以外からの委託業務(元請け) →付問2へ
5. 受注側(中間下請け)・・・元請けではなく、再委託(外注)している →付問2へ
6. 受注側(最終下請け)・・・元請けではなく、再委託(外注)は(ほとんど)していない →付問2へ
7. その他() →問6へ

付問1 所属部門をお答えください。(1つだけ○)

1. 情報システム部門 2. その他

付問2 現在担当している業務・プロジェクトの類型をお答えください。(1つだけ○)

1. SI・受託型※1 2. 組込みシステム型※2 3. サービス提供型※3

【業務・プロジェクトの類型】

※1 SI・受託型：特定の顧客からの、情報システムの構築・保守・運用

※2 組込みシステム型：ハードウェアに組み込まれるプログラムの開発

※3 サービス提供型：クラウド・ASPやパッケージソフト等、自社で提供するITサービスの企画・開発・提供

問6 現在担当している業務・プロジェクトの対価の決定方式をお答えください。(1つだけ○)

- 1. 成果物に対する価格
- 2. 作業時間(工数)に応じた価格
- 3. サービス利用に応じた料金
- 4. その他()

問7 現在担当している開発システムの対象業種をお答えください。(1つだけ○)

※ご自身が発注者の場合は、ご自身の業種をお答えください。

- 1. ハードウェアベンダ・プラットフォームベンダ等
- 2. 通信業
- 3. SI・情報サービス業
- 4. 社会インフラ(電気・ガス・水道)
- 5. 製造業(IT関連を除く)
- 6. 商社・小売・物流
- 7. 金融・保険・証券
- 8. 医療・介護福祉
- 9. 官公庁・自治体
- 10. その他()

問8 現在担当している業務・プロジェクトの大元の発注者の所在地をお答えください。(都道府県リスト選択式・1つだけ○)

※ご自身が発注者の場合は、ご自身の勤務地をお答えください。

問9 現在担当している業務・プロジェクトの(a)期間、(b)人数をお答えください。

(a)期間	□□ヶ月	(b)人数	□□人
-------	------	-------	-----

問10 現在担当している業務・プロジェクトにおける、(a)あなたと(b)平均的なメンバーの1ヶ月のおおよその所定外労働時間(残業時間)をお答えください。また、あなたの2020年度における年次有給休暇の取得率をお答えください。

※仮に、1ヶ月あたりの所定労働時間を160時間とした場合、1ヶ月あたりの平均勤務時間が200時間だった方は『1ヶ月のおおよその所定外労働時間(残業時間):40時間』とお答えください。

	(1) 通常期の1ヶ月の平均的な所定外労働時間	(2) 繁忙期の1ヶ月の平均的な所定外労働時間	(3) 2020年度における年次有給休暇の取得率
(a)あなた	□□時間	□□時間	□□%
(b)平均的なメンバー	□□時間	□□時間	

Ⅲ. 現在担当している業務・プロジェクトの遂行状況や、あなたがこれまでに担当した業務・プロジェクトの課題意識等についてお伺いします。

問11 あなたは現在担当している業務・プロジェクトを計画通りに遂行できているとお考えですか。以下のそれぞれの項目について該当する番号をお選びください。(1つだけ○)

	遂行できている	どちらかというと遂行できている	どちらかというと遂行できていない	遂行できていない	わからない
(a)品質	4	3	2	1	0
(b)収益性	4	3	2	1	0
(c)納期	4	3	2	1	0
(d)労働時間	4	3	2	1	0
(e)顧客満足度	4	3	2	1	0

問12 業務・プロジェクトの遂行時、以下の内容は(1)あなたがこれまで担当した業務・プロジェクトにどの程度当てはまりますか。また(2)長時間労働の発生にどの程度つながると思いますか。以下のそれぞれの項目について該当する番号をお選びください。(1つだけ○)

	(1) 担当した業務・プロジェクト	(2) 長時間労働の発生
--	-------------------	--------------

	当 て は ま る	ど ち ら か と い う と	ど ち ら か と い う と	当 て は ま る	し な が ら な い	ど ち ら か と い う と	ど ち ら か と い う と	し な が ら な い
(a)大規模すぎる案件	4	3	2	1	4	3	2	1
(b)過小な工数（見積もり）	4	3	2	1	4	3	2	1
(c)不明確な仕様	4	3	2	1	4	3	2	1
(d)仕様変更	4	3	2	1	4	3	2	1
(e)仕様以上の過剰品質	4	3	2	1	4	3	2	1
(f)品質トラブル	4	3	2	1	4	3	2	1
(g)発注者・受注者の役割が不明確	4	3	2	1	4	3	2	1
(h)発注者・受注者の協力関係の欠如	4	3	2	1	4	3	2	1

問 1 3 業務・プロジェクトを円滑に遂行するために、以下の取組はあなたがこれまでに担当した業務・プロジェクトにどの程度当てはまりますか。（1つだけ○）

	当 て は ま る	ど ち ら か と い う と	ど ち ら か と い う と	当 て は ま ら な い
(a)工程別に多段階契約とし、見積もりを超過した場合は別契約とする	4	3	2	1
(b)リスク発生時の取扱いやリスクに考慮したバッファを持たせた契約とする	4	3	2	1
(c)プロジェクト計画時に、業務部門から承認を得るプロセスを明確にする	4	3	2	1
(d)要件が変動することをプロジェクトのリスクとして捉える	4	3	2	1
(e)絶対に変えない部分は事前に定義、仮説部分は段階的に検証し確定する	4	3	2	1
(f)プロジェクト計画時に、業務部門と仕様変更に関するルールを定める	4	3	2	1
(g)業務部門からの突発的かつ不規則な要件追加はルールに従って行う	4	3	2	1
(h)総工数について合意する	4	3	2	1
(i)開発スコープを明確化する	4	3	2	1
(j)トラブルが起きにくく、想定外のトラブルに対応しやすいシステム・アーキテクチャを設計する	4	3	2	1
(k)検証・テストには十分な時間・工数をかける	4	3	2	1
(l)後工程でのビジネス要求の変更に伴うトラブルのリスクと対応について協議する	4	3	2	1
(m)発注者と受注者の責任範囲を明確にする	4	3	2	1
(n)システム化する対象業務を標準化し、属人化を排除する	4	3	2	1

(g)リモートでの労働時間管理	4	3	2	1	0
(h)リモートでの業務管理（進捗管理、課題管理等）	4	3	2	1	0
(i)テレワークを考慮した評価制度・運用(1on1 ミーティング、評価基準等)	4	3	2	1	0
(j)リモートでの若手社員へのOJT教育	4	3	2	1	0
(k)会社としてのテレワークの活用方針の明確化・発信	4	3	2	1	0
(l)テレワークを受容する組織風土	4	3	2	1	0
(m)テレワークに対する顧客・パートナーの理解促進	4	3	2	1	0

問 2 0 テレワークに対してあなたが期待することとして、以下の項目から当てはまるものをお選びください。（優先度が高いものを5つまで○）

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 時間・場所にとらわれない柔軟な働き方の実現 | 8. 仕事の評価方法の変化（成果主義） |
| 2. 通勤時間の有効活用 | 9. 地域におけるビジネスチャンスの拡大 |
| 3. 育児・介護等と仕事の両立 | 10. 顧客・パートナーとの共創機会の拡大 |
| 4. 事業継続性の確保（BCP） | 11. 優秀な人材を獲得する機会の増大 |
| 5. 新型コロナウイルスへの感染回避 | 12. 人材の離職防止 |
| 6. オンラインによる学習機会の増大 | 13. 副業・兼業の促進 |
| 7. 業務のデジタル化の促進 | 14. 特になし |

V. あなたの勤務先の労務管理制度、会社や仕事に対するモチベーション、働き方改革への取組についてお伺いします。

問 2 1 あなたの勤務先では以下の労務管理に関する制度を導入していますか。（1つだけ○）

	導入している	導入していない	わからない
(a)労働時間を正確に把握するための制度の整備	2	1	0
(b)半日休暇・時間単位の有給休暇制度	2	1	0
(c)産業医や保健師による長時間労働の社員に対する面談制度	2	1	0
(d)基準を超えて長時間労働した社員に対する制限や休暇取得の強制化	2	1	0
(e)裁量労働制、フレックスタイム制、時差勤務等の弾力的な労働時間制度	2	1	0
(f)年次有給休暇の計画的な取得の施策制度	2	1	0
(g)記念日休暇、慶弔休暇、配偶者出産休暇等の特別休暇制度	2	1	0
(h)連続休暇制度やリフレッシュ休暇制度	2	1	0
(i)ノー残業デーの設置	2	1	0
(j)勤務間インターバル制度	2	1	0

問 2 2 あなたの会社や現在の仕事に対するモチベーションの状態をお答えください。（1つだけ○）

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. とても働きがいがある | 4. 全く働きがいがない |
| 2. やや働きがいがある | 5. どちらでもない |
| 3. あまり働きがいがない | |

問 2 3 あなたは何が会社や仕事へのモチベーションの向上に繋がりますか。以下の項目から当てはまるものをお選びください。（優先度が高いものを5つまで○）

1. 給与・処遇が良い
2. 定時に退勤できる・時間外労働が少ない
3. 有給休暇を取得しやすい
4. 働く時間・場所にとらわれない柔軟な働き方ができる
5. 経営層や上司との定期的な対話の場がある
6. 職場の人間関係が良い
7. 福利厚生が良い
8. オフィス環境が整備されている
9. 会社の将来性・安定性がある
10. 経営者の考えや経営会議の内容がオープンである
11. 仕事に対する興味・関心がある
12. 仕事に意義・価値を感じる
13. 自分の特性・能力に向いている
14. 自分をスキルアップできる
15. 自身のキャリアが明確になっている
16. 能力や成果に見合った昇給・昇進がある
17. 納得できる人事評価が行われる
18. 希望を踏まえた配属・異動が行われる
19. その他（ ）

問2 4 働き方改革への取組効果として、あなたは何が重要だとお考えですか。（優先度が高いものを5つまで○）

1. 時間外労働の削減
2. 休暇の取得促進
3. 働く時間や場所の柔軟化
4. 育児・介護との両立
5. 新規事業・ビジネスの創出
6. 仕事へのモチベーション向上
7. キャリア自律意識や学習意欲の向上
8. 優秀な人材の確保・採用力向上
9. 雇用の安定・離職防止

VI. その他

問2 5 コロナ禍において急速にテレワークが進展しましたが、テレワークについて思うところがあればお聞かせください。（任意）

問2 6 所定外労働時間の削減や年次有休休暇の取得が進まない根本的な原因があればお聞かせください。（任意）

問2 7 働き方改革への取組全般に関して、その他ご意見等あればお聞かせください。（任意）